

「旭川赤十字病院医学雑誌」投稿規定

1. 本誌は旭川赤十字病院の機関誌として年1回発行する。
2. 本誌に掲載された原稿の著作権は、旭川赤十字病院に帰属する。また、本誌の内容は旭川赤十字病院ホームページ、または赤十字リポジトリ上に公開されるものとする。
3. 本誌は総説、臨床研究、症例報告、医学研究短報に関する論文で未発表のもの、年報（学会発表及び雑誌掲載論文記録など）、その他各科、各部局の活動内容などからなる。
4. 掲載論文の採否及び順位は編集委員会で決定する。
5. 原稿は原則として邦文とし、横書き、専門用語以外はひらがな、当用漢字、現代振名づかいを用い、句読点は正確に書くこと。また、パソコン（Macintosh, Windows どちらも可）のワープロソフトを使用した場合は、印字された原稿のほかにCD、USBメモリーなどに本文をテキスト形式に保存し、論文名、著者名、使用ソフトを記載したラベルを貼って添付すること。
6. 外国語はタイプあるいは活字体で明瞭に書くこと。
7. 数字は算用数字を用い、度量衡単位はmm, cm, mg, %, °Cなどを用いる。
8. 論文には英文タイトル及びローマ字による著者名（例 Shiroji HISHIYAMA）を併記する。
9. 5語以内のKey Wordsを付記する。
10. 原著論文の体裁は、『はじめに』『対象・方法』『結果』『考察』『おわりに』もしくは『はじめに』『症例』『考察』『おわりに』とする。各項目の細分は、次の通りとする。
I, II, ……., 1, 2, ……., (1), (2), …….,
11. 図・表は原稿とは別にして、標題及び簡単な説明をつける。（図・写真は下、表は上につける）
12. 図・表・写真とも本文中に挿入個所を明記する。
13. 引用論文は主要論文のみとし20以内にとどめること。
文献の書き方は次の形式による。
 - 1) 記載順序は、引用順とし本文中に引用した個所の右肩に_{1), 2)}のように番号を付し、本文中の末に一括して掲げ1), 2), のように書く。
 - 2) 雑誌の場合；著者名, (共著の場合もなるべくFull Name, ただしあまり多数の場合は省略も可) 標題, 雑誌名, 巻：頁～頁, 発行年（西暦）。
外国雑誌の場合はIndex Medicus, 邦文誌は「日本医学雑誌略名表」による略号を使う。
 - 3) 単行本の場合；著者名：標題, 巻数, 版数, 発行地, 発行年（西暦）。（必要ならば引用頁を最後）とする。
14. 年報への投稿は以下の書式によること。
 - 1) 学会発表の場合（総会, 地方会, その他の研究会など）：演題名, 所属発表者（全員 Full Name）発表学会名（第○回も必ず）, 発表年・月
 - 2) 掲載論文の場合；発表者（全員 Full Name）：論文題名, 発表雑誌, 巻：頁～頁発行年（西暦）
15. 掲載料は無料とし、掲載原稿には掲載誌1部と別刷30部を贈呈する。それ以上の別刷は30部単位で申し込み実費負担とする。
16. この投稿規定は編集委員会にて変更されることがある。

編 集 後 記

2013年度、嬉しいニュースでは、富士山が世界文化遺産に決定、2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定、長嶋茂雄氏と松井秀喜氏の国民栄誉賞受賞などがありました。オリンピック招致活動の最終プレゼンテーションでは、日本社会に根付く歓待の精神を日本語で紹介した滝川クリステルさんの「お・も・て・な・し」が2013年流行語大賞を受賞しました。また、東北楽天ゴールデンイーグルスが初の日本一となり、東日本大震災の被災地の方々に勇気を与えました。

悲しいニュースでは、気象観測史上、記録的な出来事が相次ぎ、猛暑、竜巻、ゲリラ豪雨などが多く発生しました。猛烈な雨が続き、伊豆大島で大規模な土石流が発生し尊い命が犠牲となりました。

経済では、電気料金の値上げ、2014年から17年ぶりに消費税率8%への引き上げが決定し、個人消費が低迷しそうです。

病院の出来事では、新棟移転後初めての病棟再編成が行われ、女性専用棟の廃止、耳鼻科および眼科の3きたへの移転、5みなみに消化器内科が異動しました。9月には、全国赤十字スポーツ大会が旭川で開催され、全国赤十字病院から総勢1,000人以上の方が参加され、熱戦を繰り広げました。11月には入院支援センターが開設されました。入院当日に行っていた説明など事前に行うことで、患者さんが安心して入院することができるようになりました。また、当院が選ばれる病院となるための「オンリーワンプロジェクト」がスタートし、プロジェクトの実行を担当する「エクセレントホスピタルチーム」により、旭川赤十字病院職員行動規範「5つの約束」が提唱されました。この5つの約束は、先の「お・も・て・な・し」と共通して心配りの精神を表したものです。病院職員全員がこの5つの約束を守り続けたなら、「選ばれる病院」となることでしょう。

さて、旭川赤十字病院医学雑誌第27巻を皆様のお手元にお届けすることができました。今年も多くの研究や、貴重な症例が本誌に掲載されました。毎日、多忙にもかかわらず、ご投稿いただきましたことに心より感謝申し上げます。

本誌は旭川赤十字病院の職員の臨床研究、症例報告、その他各科、各部局の活動内容で構成されています。学会発表したものを是非おまとめいただき、その成果を形に残していきませんか。2014年度以降も多くのご投稿をお待ち申し上げます。(M. W)

〔編集委員〕

吉 田 一 人, 森 川 秋 月, 三 宅 正 文
西 宮 孝 敏, 藤 田 豪 紀, 瀧 澤 克 己
都 郷 憲 之, 後 藤 吉 延, 増 田 安 彦
脇 田 美穂子, 幸 田 久 平

〔事務局〕

松 島 克 典, 皆 川 弘 恵

旭川赤十字病院医学雑誌 Vol.27

平成27年3月31日 印刷・発行

発行人 牧野 憲一

発行所 旭川赤十字病院編集委員会
旭川市曙1条1丁目
TEL. 0166-22-8111(代)

印刷所 株式会社 あいわプリント
旭川市3条4丁目右1号